

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人社団 洛和会	代表者	矢野 裕典	法人・ 事業所 の特徴	同会においては市内で5番目、平成26年4月にここ竹田・住吉学区で初めて小規模多機能サービスとして設立。「地域に頼りにされる施設」をモットーに日々取り組んでおります。毎日の機能訓練の実施や定例の行事を実施し、ご利用者様に楽しんで頂けるよう取り組んでいます。
事業所名	洛和小規模多機能 サービス伏見竹田	管理者	宇野 友浩		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・ 地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	3人	人	人	1人	人	3人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	自己評価を行う際、ミーティングでの評価記入を説明する。	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の個々の解釈の仕方により、ばらつきがある。 ・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 	<ul style="list-style-type: none"> ・評価内容の説明を行い、各職員意味の理解を行う。
B. 事業所のしつらえ・環境	施設内の装飾品は季節に合った装飾作りに、利用者参加し制作する。玄関先の見栄えを良くする。	<ul style="list-style-type: none"> ・環境整備ができており事故防止ができた。また、不快と思われる匂いがない。 ・玄関周り見栄え良く装飾する 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議のみの滞在時間であるため、わからない部分がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民のイベント参加、迎え入れにあたり、施設内外の装飾に気を配る。
C. 事業所と地域のかかわり	対面による運営推進会議の再開。認知症サポーター養成講座への参加。地域のケアマネ連絡会への参加。	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネ連絡会への参加。 ・認知症サポーター講座への参加ができていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事の周知、開催など積極的に実施されており多世代の方が施設に来られ周知啓発に繋がっていると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民参加による施設行事の開催。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	近隣住民対象の施設イベントを再開する。	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内の健康体操の実施。 ・メディカルフェスティバルの開催を行い、近隣の住民の方々多数の参加、利用者参加がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き継ぐ関係機関も利用者生活暦を把握して、情報提供ができる体制作り、地域包括支援センターとしても居宅介護支援事業所への投げかけが必要と感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏祭り、メディカルフェスティバルの開催。 ・健康教室、ラジオ体操の開催。
E. 運営推進会議を活かした取組み	対面による運営推進会議の再開。他事業所合同で運営推進会議を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・対面による運営推進会議が開催できた。 ・他事業所合同の運営推進会議は未実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現場の介護職員はなかなか難しいと思いますが、地域や関係機関との関わりが持てる機会があれば良いと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他事業所合同で運営推進会議の開催。 ・施設取り組みのアピール。
F. 事業所の防災・災害対策	今年度防災計画の策定を行う。地域防災訓練に参加する。	<ul style="list-style-type: none"> ・BCP策定に関する研修参加。 ・地域防災訓練には不参加。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災訓練の参加状況が分からない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災訓練の参加。 ・防災備品の整備をする。